総括

●今年度の実績

○小牧山

～オンラインによるプロモーション及び大河ドラマ「どうする家康」の放送を見据えた小牧山のプロモーションの強化～

３年ぶりにこまき信長夢夜会を開催するとともに大河ドラマ「どうする家康」の放送を見据え、小牧山周辺バーチャル街歩きマップ（お家 de 小牧観光）の更新及び観光協会ホームページの拡充や小牧山城等紹介動画の作成･発信など SNS 等による情報発信を強化しました。また、小牧山と徳川家康に関するデザインのペナント・のぼりの設置、小牧山城をＰＲする武将キャラクター「小牧山城天下とり隊」の制作・グッズ作成、大規模城郭イベントへの出展による PR、「小牧・長久手の戦い」同盟・愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会･信長公居城連携協議会を通じた情報発信など小牧山と徳川家康に関する情報発信を強化しました。

○名古屋コーチン

～魅力創出・発信と販売促進の更なる強化～

小牧商工会議所を中心とした「名古屋コーチンプロジェクト」の活動により、事業者によるオンラインを活用した販売促進の更なる強化のため、プロカメラマンによる商品画像制作、商工会議所が立ち上げたお土産贈答サービス EC サイト「みやげっと」を継続して実施しました。また、名古屋コーチンを使用した商品・メニューを開発する事業者を、奨励金により 1 件支援しました。最後に名古屋コーチン発祥の地である小牧市を候補地としてもらうよう小牧市から愛知県に要望したこともあり、名古屋コーチンに特化した施設である愛知県畜産総合センター種鶏場が、2023 年３月に安城市から小牧市に移転開場しました。

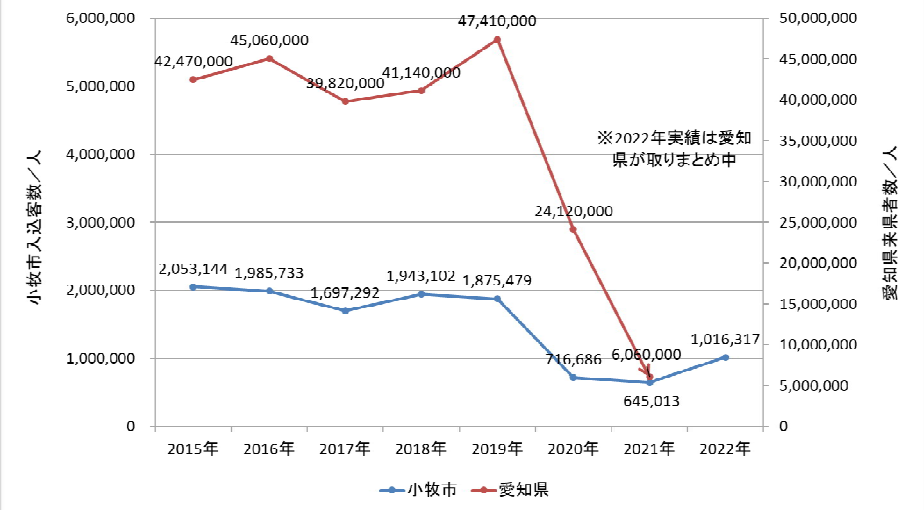
○総合事業

～オンラインでの魅力発信の継続及び市内外イベント等での魅力発信の強化～

本市への誘客とおもてなしを強化するためにカーラッピングを施した移動販売車による観光グッズや推奨品の販売、観光パンフレットの配布を市内外の施設等で実施するとともにイベントが再開傾向にあることから、市内外のイベントでの出展数を増やし、本市の魅力発信を精力的に実施しました。また、今年度も愛知のお城観光推進協議会、愛知・名古屋観光誘客協議会の実施事業に参画し、大規模城郭イベントへの出展や VR お城ガイド「ぐるっと愛知の城めぐり」の制作を行い、県の発信力や集客力を活用した市の観光 PR と誘客促進に取り組みました。

●今年度の評価と課題

◆主要なイベント及び地域資源への来訪者の数（交流人口）



※昨年度あいち観光戦略の改定により、来県者数等の数値目標が変わったため、2021 年の愛知県の数値は、愛知県観光振興課への聞き取りにより確認。

総括

2021 年度に引き続き、2022 年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大により観光振興に取り組むうえでは、厳しい状況ではありましたが、感染対策を行ったうえでのイベントの開催等により、主要なイベント及び地域資源への来訪者の数（交流人口）は、前年度より増加しました。ただし、コロナ前の数値と比較しますと、依然として厳しい数値であることがわかります。

2022 年度も、2020 年 12 月に策定した「小牧市観光振興基本計画 with コロナ版」に則り、SNS による情報発信の強化や EC サイトの拡充などオンラインを中心とした観光推進施策を実施するとともに大河ドラマ「どうする家康」の放送を見据え、小牧山と徳川家康に関する情報発信を強化しました。また、イベントが再開傾向にあることから、３年ぶりの開催となったこまき信長夢夜会など主要イベントの再開や市内外のイベントでの出展数を増やすなど精力的に取り組みました。

●2023 年度の方向性

「小牧市観光振興基本計画 with コロナ版」に示す観光推進施策を進めながらも、観光に対する意識や需要の変化へ柔軟に対応し、臨機応変に施策を展開することとします。

具体的には、大河ドラマを活用し、小牧山と徳川家康に関する情報発信を引き続き強化するとともに、来訪者の増加を見込み、受入態勢の強化にも努めます。また、前年度より着手しました小牧市観光振興基本計画の改定を 2024 年 3 月末までに完了し、本市の観光振興に関する新たな指針とします。

・2022 年度小牧市観光振興基本計画改定委員会開催状況

	日時	協議事項
第１回	令和４年１０月	委員長・副委員長の選任、現計画の検証と改定に向けての方針等について、 実態調査の実施について、小牧市観光振興基本計画改定スケジュールについて
第２回	令和５年３月	各種実態調査の結果報告について、各種実態調査結果から見えてきた課題について、 小牧市観光振興基本計画改定の方向性について